



第193号



魂の糧として

監査 五百川

(昭和32年卒)

忠

母校の旧正門を入ると、左手奥に龜田の森の亭々たる杉や大銀杏と肩を並べて明治時代の洋館を思わせるような建物がある。大正三年に建設された母校、北海道函館師範学校の校舎の一部で、現在は北方教育資料館・夕陽記念館となっている。平成元年に、函館の歴史的風土を守る会から「歴風文化賞」を受賞し、平成十二年には文化庁から「登録有形文化財」の認定を受けた。正面玄関横に打ち付けられているプレートには「この建造物は貴重な国民的財産です」と彫りこまれている。

九月、久しぶりにこの建物を見学する機会があった。館内は静まり返り、過ぎ去つた九十余年の歳月を物語るようにゆつたりと時が流れていった。軋む床、磨り減った階段、黒光りする手すり、天井に塗り固められた斑なペンキ模様などに、この古い校舎を巣立つた八千人の青春の滾る血潮と息吹に触れる思いがした。

一階の展示室には、歴代校長の写真や建学の精神の由来など母校の貴重な資料のほか、大正七年第一回卒業生から各期の卒業記念アルバムやスナップなどが展示されている。その写真一枚一枚から戦前、戦中、戦後の学校生活や寄宿舎生活のひとコマを知ることが出来る。また、軍隊手帳や軍事教練で使用されたゲートルなどは、軍靴の高鳴りつつあつた不穏な時代の一側面が色濃く映し出されていて、まさに時代の流れを感じた。

師範学校から教育大学までの変遷の中

では、学校の制服や白一線の帽子に寮歌の一節に込められている心意気伝わり、学芸大学時代の角帽には郷愁を覚える。さらに、母校教官の書・絵画の作品を中心とした展示として、当時の教官の講義など、胸に去来するものが大であった。

二階は夕陽の足跡と芸術である。作品

は絵画、書、写真、書物、同期会記念誌などが階段や廊下にも展示されており、寄贈者の中には、その時々の出会いを思い出させる方もいて懐かしさがこみ上げてきた。開設当初からこれらの貴重な資料の収集・展示に取り込んでこられた歴代の会長さんを初め、中心になつて活動されている厚生部の方々のご苦労を今更ながら深く受け止めた次第である。

新しく生まれ変わった母校は、これから教職に就く卒業生が益々減少していくことが予想されているが、その中にあって母校や事務局の働きかけで、新卒者の夕陽会入会率も高まつてきていることは喜ばしい限りである。

この記念館も大規模改修され、明年には装いも新たに一層重厚さを増した姿を見せることになる。そして今後は、地域の大重要な資産の一つとして、大学と緊密な連携のもとに幅広い分野において有効活用されることが期待されている。

師範学校創設以来の長い歴史をとどめているこの夕陽記念館が、同窓生一人一人の魂の糧として、いつまでも凛とした佇まいを持ち続けて欲しいと念じて止ま

全国支部幹事長会議

「創造し、行動するタ显示出る」のセリナの発展のために

今年度は道外・道内支部幹事長会議を全国支部幹事長が一堂に会し、函館市において八月四日（土）午後三時三十分よりフィットネスホテル330函館を会場

に、本部役員十六名 全国二十六支部の幹事長の出席で開催された。冒頭、川島会長が挨拶の中で、「日頃の夕陽会各支部活動を支えてくれている全国各支部幹事長の皆さんに深く感謝申し上げる。今年は、来年が九十周年記念の年でもあることから全国の支部が心を一つにして、活動を盛り上げていただきたい。また、本日は各支部の取り組みを交流し、夕陽会の活性化につなげたい。」と話された。

る組織強化や夕陽会創立九十周年記念事業に関する基本的な計画を総会で提案したことについて具体的な事項に触れながら報告した。

母校関係については、会長から「母校の人間地域科学課程」という新しい道でスタートした一年であるが、予想以上の活動状況があつたと聞き安堵している。これまでと同様に母校支援へのいろいろな手立てをこれからも講じながら、同窓会加入の呼びかけを強めていきたい」とのお話があり、教員採用への支援、教員外同窓生の掌握等について話された。

その後、総会で提案・承認された「夕陽会創立九十周年記念事業」、「北海道教育大学教育支援基金」の説明が具体的に須藤幹事長からなされた。

特に「北海道教育大学教育支援基金」に関わっては、会長から大学との連携を強化していくためにも支援基金を夕陽会



議長を尾畠悌介副会長、中瀬裕義副会長にお願いし、議事を進めた。



全体で取り組んでいくことが大事である
とのお話があつた。

統いて、各支部の組織強化並びに活動状況の報告を行つた。例年であれば各ブロックでの開催であつたので、今回、全国的な各支部の状況報告は、夕陽会組織としても有意義な報告になつた。

参加二十六支部の幹事長から各支部の状況について、報告があつた。

がしやすい」組織強化も兼ねて、民間企業に勤めている方への働きかけが必要なことから連絡してもらえる方法はないか」「卒業時に同窓会入会式を開催するのはどうか」などの各支部からの報告があつた。

最後に、本部事務局業務推進について事務局、本部各部長から説明・報告があつた。

今回は、全国支部幹事長が一堂に会し「創造し、行動する夕陽会」のさらなる発展を感じることができる全国支部幹事長会議であつた。

伊藤勝志教授ご退職を祝う会 (兼 楽友同窓会新入会員歓迎会)

日 時／平成20年2月23日(土) 午後5時～

会 場／マリエール函館（予定）

会 費／5,000円

*たくさんの方々の参加をお待ちしております。

問い合わせ先 三浦 浩平（附属小）

0138 (46) 2235

木村健一郎教授退官記念最終講義・祝賀会のご案内

日 時／平成20年2月16日(土)

午後3時

午後3時30分～5時30分

午後 6 時～8 時30分

会場／函館ハーバービューホテル

（函館市若松町14-10（函館駅前））

申込締切日 平成30年1月22日(水)

申し込み先 〒040-8567 函館市八幡町1-2 北海道教育大学函館校
木村教授退官記念行事実行委員会 上谷 宣正

現役・OBを問わず、全道・全国に名を馳せる出品者が顔をそろえる「夕陽書道展」が今年七月に開催されました。今回で八回目を迎える本展は、函館市芸術ホールギャラリーを会場に七月十一日から十六日までの六日間の日程で開催され、たくさんの夕陽会員や一般来場者をお迎えしました。

昭和五十三年の第一回から、教育や文化活動にたずさわる多くの会員の参加のもと、音楽や美術とともに「創造し行動する夕陽会」を旗印に活動を続けてきました。

今回は、昭和五年卒から平成十九年卒までの九十二人が出展。最高齢は九十八歳の作品で、年齢を感じさせない力強い筆づかい（函館新聞）と紹介されています。また、顧問の西村舟水・永田青雲・須田廉亭の三氏、物故顧問の富原唐蘿・沖田望鶴・北道秀岳の三氏の作品が会場に華を添えていました。そして、特別出品として、川島孝夫夕陽会長・多賀谷智教育長・須藤由司幹事長・玉手道男文化部長の作品も紹介されました（北海道通信）。

期間中、約七百人の来場者がいましたが、市立函館高校で芸術科書道を履修している生徒や西高校書道部員などの若い世代の姿が印象的でした。また、道内各地から卒業生の方々も見えられ、親しく会話をされたり、出品者からの



展示会場(上)と実行委員ほか



第八回夕陽書道展を終えて

文化部長 玉手道男
(昭和48年卒)函館市立西中学校長

説明を受けるなど、和やかな雰囲気が会場いっぱいに広がっていました。

『書の奥深さを伝える百点』との見出しで「力強い筆遣いで一文字を書いた作品や、谷川俊太郎の詩を和紙につづった風雅な作品などの掛け軸が並ぶ。国宝の中空土偶にちなんで古代文字を使つたユ

ニーケな作品もあり、書の表現の奥深さを伝えている。』と道新も伝えました。

この度の書道展を通して強く感じたことは、書を愛する方々の(人としての)

奥深さとおおらかさでした。そして、大川富美男実行委員長(桐花中学校長)を

はじめとする、実行委員の方々の見事なチームワークと行動力でした。

第八回夕陽書道展を無事成功裏に終えることができ、実行委員会の皆さまとそれを支える諸先輩、そして何かとお世話いただいた川島会長をはじめ、夕陽会員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

平成20年度

全国支部長会議、本部総会、夕陽会創立90周年記念式典・祝賀会

❖ 期 日 平成20年6月21日(土)

❖ 開 催 地 函 館 市

○平成20年度全国支部長会議 11:00~13:00

函館ハーバービューホテル(函館市若松町14-10) TEL 0138-22-0111

○夕陽会創立90周年記念式典 14:00~15:00

函館ハーバービューホテル

○平成20年度総会 15:30~16:30

函館ハーバービューホテル

○夕陽会創立90周年記念祝賀会 17:30~20:00

函館国際ホテル(函館市大手町16-9) TEL 0138-23-6161

祝賀会費 8,000円

*神山茂賞

近堂 俊行 氏 昭和33年卒
函館市高丘町一四の三一

今野 隆二 氏 昭和22年卒
札幌市中央区北七西一四
朝日・プラザB棟三一四

*稚内市政功労者表彰

武田 隆雄 氏 昭和46年卒
函館市昭和二の一二の五

*北海道教育功績者表彰

田中 俊也 氏 昭和29年卒
函館市柏木町一六の六

津坂 忠 氏 昭和28年卒
函館市昭和一の二八の二四

三浦 寛 氏 昭和23年卒
札幌市手稲区稲穂一条六の二二の一

*瑞宝双光章(秋の叙勲)

増子 信吉 氏 昭和23年卒
北見市常磐町四の五の一三

受賞(章)おめでとう
ございます

夕陽会創立90周年記念「夕陽パネル展」について

次年度挙行されます夕陽会創立90周年記念式典に華を添えるため、式典会場ホワイエにて、各支部から見える絶景の夕陽パネル展示を計画しております。

つきましては、下記の要領でふるって応募願います。

記

- 1 写真の内容 ゆうひ 各支部から見える夕陽の写真（各支部2点まで可）
- 2 写真の様式 デジタル、ネガフィルム、実物写真
- 3 キャプチャー用解説メモ
例）眺望～日本海に沈む夕陽（○○支部）
撮影者氏名 卒業年
- 4 締め切り 平成20年4月末日
- 5 送付送信先 〒041-0851 函館市本通1-3-7
熊谷光洋（夕陽会ウェブ委員長）宛
送信先 mkuma@ms1.ncv.ne.jp
- 6 パネル作成 お送りいただいた写真等とともに本部が責任を持って拡大パネルを作成します。終了後は各支部にパネルを寄贈します。

港まち はこだてを満喫できる
絶好のロケーション。便利な
アクセス

- JR函館駅より徒歩1分。
- 函館空港よりホテル前まで連絡バスがございます。(20分)
- 函館朝市に隣接。

- ご婚礼・ご宴会のお問い合わせは
宴会予約 TEL(0138) **23-8888**
- ご宿泊のご予約は
TEL(0138) **22-0111**



函館ハーバービューホテル

〒040-0063 函館市若松町14番10号
PHONE(0138)22-0111 FAX(0138)23-0154 URL <http://www.hvh.jp>

24	23	22	17
海峡クラブ（バケットボール 部OB会）懇親会に川島会長が出席する。 （函館）	道東プロツク会議に川島会長・ 須藤幹事長が出席する。（網走） （函館）	附属函館中学校開校六十周年記念式典・祝賀会に川島会長が出席する。 （函館）	島会長が出席する。 道央ブロック会議に川島会長・ 花田副幹事長が出席する。 （函館）

各期、研究室、クラブ等の同期会、

同窓会の開催について

次年度にひかえております北海道教育大学夕陽会創立九十周年記念式典、祝賀会を開催するに当たり、全国から多くの会員の皆様の出席のもと盛大な会になることを本部として期待しております。

つきましては、各期、研究室、クラブ等の同窓会・懇親会の開催を企画されるにあたり、この機を利用して式典、祝賀会当日を前後して可能な限り函館において実施下さり、多くの会員が式典、祝賀会に出席出来る機会をつくっていただくようお願い申し上げます。

創立九十周年記念式典、祝賀会開催日

平成二十年六月二十一日(土)

◆同窓会、同期会のご案内

口わせ下さい。 次の会の同窓会、同期会が予定されております。 詳細は、代表幹事にお問い合わせ下さい。

会等の名称	開催日時・会場	代表幹事
夕陽会 40会	平成二十年六月二十一日(土) 二十一時から 会場未定	高屋 泰男
夕陽39年の会	平成二十年六月二十一日(土) 二十時三十分から 国際ホテルラウンジ	坂口 直義

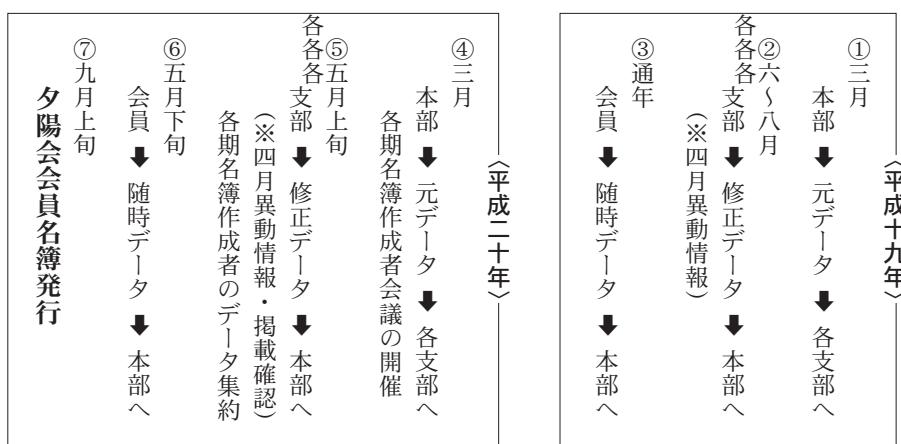
しかし、すべての会員の皆様への確認が不可能であるため、掲載を希望されない方及び情報の一部削除を希望される方は、最寄りの夕陽会支部または、本部組織部へ連絡下さい。夕陽会ホームページによつても会員の皆様からのアクセスにより、名簿の情報を更新できるシステムを取つておりますのでぜひ活用願います。

平成二十年度版発行までのスケジュー
ルは、次の通りになつておりますので、
会員の皆様の御協力をお願ひいたします。

新旧の会員が臍脂色の会旗のもとで結ばれた同窓の絆をいざこの地でも確かめられるものとして、会員名簿のもつ意義をますます確かなものにしながら、九年周年記念の式典、祝賀会の様子も収録した特別版会員名簿の作成を計画しております。

(平成二十年度は、夕陽会創立九十周年を迎えます。また、会員名簿発行の年でもあります。

組織部長
土谷敬



北方資料館（夕陽記念館）修復に 三千万円を寄付



夕陽会（川島孝夫会長）は、九月十四日に同会設立九十周年を記念して、「北方資料館」改修費用として三千万円を函館校に寄付いたしました。

同記念館前で川島会長が本間学長に寄付目録を贈呈。館内を見て回った学長は「非常に由緒があり貴重な建物。寄付には非常に感動しております、大学としてできる限りの努力をしたい」と決意を表されました。

修復後は、同館を市民や学生にもっと開放するなどの活用策も盛り込まれ、来年四月に行うリニューアルオープニングセレモニーに合わせて、案内パンフレットや収蔵品目録を発行、また展示品の更新や新たな収蔵品の収集にも努める予定で、地域との交流の場としての活用も視野にいれています。

（北海道教育大学 学報第四九八号 平成十九年十月発行）

九月二十二日、懐かしむ会終了後、夕陽会関係者で、建物内部の展示品、収蔵品を全て梱包し、改修工事に入れるように入りました。

塗り替えを行います。
既存の腰壁羽目板を取り付けます。
外壁改修は、屋根以外の木部全面の塗装塗り替えを行い、窓枠は腐朽部分の補修を行います。

鋼板菱葺きにします。
工事の概要は以下のようです。
平成二十年春には、我々、夕陽の歴史を刻むこの夕陽記念館が、リニューアルし、新たな歩みを見せることでしょう。



その後、工事の準備に入り、十二月から本格的な改修作業に入っています。
現在、写真にあるように、大きくなっている箇所も見られることから、内部改修、外壁改修、屋根改修の三カ所の工事に入っています。

内部改修は土台の腐食がひどく、無くなっている箇所も見られることから、土台の全面改修の作業に入っています。
また、床下換気口を新設し、換気ができるようにします。

床板も腐食が進んでいるため、一階の床板を撤去して、新しいフローリング材を敷くことになります。
天井は、腐朽部分を補修し、全面塗装

只今 夕陽記念館 改修中！



「北海道語に残る古語」

北海道教育大学函館校教授
夏井 邦男(昭和40年卒)氏著

私たちの同窓で昭和四十年卒、北海道教育大函館校の夏井邦男教授(65)が、定年退職を間近にして、この度、「北海道語に残る古語」を執筆、北海道出版企画センター(札幌)から刊行しました。

これは、江戸時代以前に中央や上方などで使われ、北海道に伝わった方言について、語源や用法の変遷をまとめたものです。長年にわたり、古典や言語資料(源氏物語、徒然草、松前方言考、仙台浜萩など)を丹念に調べたり、時には東北の図書館に出向いて調査をしたりして、意欲的、精力的にまとめ上げた研究書です。夏井氏は、二〇〇四年に北海道の方言の歴史的な背景をまとめた「北海道方言の歴史的研究」を刊行しています。新著は、この続刊にあたるもので、北海道方言の中から、江戸時代以前の古語に語源が認められる語彙約千六百語を選び、一語一語、その意味や使い方、歴史などをいへん丁寧に解説しています。とてもユニークで身近な言葉の言わば「北海道語の辞典」ですので、非常に興味深く、読み応えがあるというのが実感です。

一例をあげると次のとおりです。ウダデ(副)「ウタテ」の転。ひどくとも。「若月の清にも見えず雲隠れ見まくそ欲しきうたて「宇多手」このころ」(萬葉・一一・二四六四)。例文略(経亮本節用集)。例文略(淨・傾城島原蛙合戦・三)。例文略(晉江・まきのあさつゆ)続は略。巻末の参考文献から、正確さを求め、長期間にわたって、広く、数多くの文献に基づいての記述に敬服いたします。

(昭和40年卒
函館市児童センター館長 絹野 重治記)



「アイヌ民族に対する理解を深めよう」

元北海道教育委員会アイヌ教育相談員
手塚 滋(昭和32年卒)氏著

本稿は「アイヌ民族の歴史と文化」の指導資料として作成されたものです。

五章に分かれて、Q&A方式を取っています。

第一章は「Q. 今なぜアイヌ史等の学習ですか」に対して、取り扱う意義、課題、理解の現状などを基本的な観点でまとめています。

第二章は「Q. アイヌ民族の歴史はどうの時代ですか」に対して、北海道史の各時代区分・文化区分とアイヌ民族の概史を年表を使いながら示しています。

第三章は「Q. アイヌ文化とはどのような内容ですか」に対して、アイヌの民俗文化、伝統的文化など、アイヌの生活の基盤になつていることについて具体的な記述をしています。

第四章は「Q. 小学校社会科副読本や教科書の記述内容はどうなっていますか」に対して、記述例と問題点について具体的に記述されています。

第五章は「Q. 副読本改訂時に留意すべき事項及び指導の観点は何ですか」に対して、アイヌ語の表記及び指導上留意すべき用語などについて述べています。

全体を通して、アイヌ民族に関する歴史・文化等の学習は教育に携わる人たちが、どこでも、だれでもが創意・工夫して指導することができる構成になつてあります。

「恵山町史」

恵山町史編集長
近堂 俊行(昭和33年卒)氏著

同町史は一九七〇年に発行された恵山町の旧名の尻岸内町の町史「尻岸内町史」を全面的に書き換えた内容で、九五年から近堂編集長を中心に編さん作業が進められました。

一四八三ページのうち近堂氏は約二〇〇ページを執筆されております。

尻岸内町史を基本にしているとされおりますが、恵山町史は七編からなり、自然、先史、行政、産業、交通・通信、教育、宗教で構成されています。

また、年表もついており、年代別によくわかるものになっています。

特に産業編では、明治後半から大正前半にかけて採掘されていた古武井地区の硫黄鉱山について詳しく記述されております。

近堂氏は、「恵山町史」を通じて、これまで当地域が歩んできた足跡と郷土発展のために尽くされた先人たちの想いを知ることができ、改めて感じたことは恵山町・東渡島一帯の持つ歴史と自然の素晴らしさ、そして、この地の秘められた可能性であるとかかれております。

また、近堂氏は、函館や近郊の郷土史研究の功労者に贈る二〇〇七年の神山茂賞を受賞されました。

十一年の歳月をかけて今回の刊行ということで、後世に残る貴重な史料であることが評価されました。

～寄贈図書です。記念館でご覧ください。～

夕陽会創立90周年事業協賛金・北海道教育大学教育支援基金協力金 ご支援・ご協力をお願ひいたします

◎ 夕陽会創立90周年事業協賛金について

現職会員	1口	1,000円	1口以上のご協力を。
OB会員	1口	2,000円	1口以上のご協力を。

◎ 北海道教育大学教育支援基金協賛金について

現職会員・OB会員	共	1口	1,000円	1口以上のご協力を。
-----------	---	----	--------	------------

※現職会員は各支部、OB前納会員は本部へお願ひいたします。



地元を取材できる喜びを胸に

(株)北海道通信社 澤田麻衣
(平成17年卒)

大学を卒業してから三年が経とうとしています。教職を選ばなかつたにもかかわらず、教育にかかわつていける現在の環境。そして、夕陽会の皆様の温かい支えのある、この函館で勤務できることにつくづく自分の運の良さを感じております。先輩方には、日ごろから取材活動などで多大なご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

◇
振り返ると、学生時代の四年間は本当に貴重な時間でした。報道関係の仕事に関心があつたものの、「地元の大学に行きたい」との思いから函館校の総合四課程へ入学。教員免許も取得しましたが、時間のほとんどを部活動とアルバイトに費やしました。今となつては「もつと勉強しておけばよかった…」、この一言に尽きます。



社会に活躍する同窓



お客様の笑顔のために：

ベルクラシック函館 望月義仁
(平成17年卒)

「ウェディングプランナー」…
現在の僕の職業であり、数年前にユースケ・サンタマリア主演で放送されていたドラマのタイトルである。

僕が今この仕事をしていることのきっかけが、このドラマにあつたと思う。

大学四年生、教員採用試験・就職活動

と、周りの友人たちが忙しくなつていく中、僕は将来の夢や希望の職業もなく、自分の将来についてまつたく考えていなかった。でも、友人達と就職の話になると、特に根拠はなかつたが「ベルクラに就職する」と言つていた事だけはよく覚えていたわけではなかつたので、まさか本当にベルクラシックに就職することは思つてもいなかつた。ただ、「ウェディングプランナー」という仕事に、どこか「気になる部分」が僕の中にあつたんだと思う。

結局、大学卒業を迎える頃まで、就職活動もせず、卒業式が終わり、友人たちが新天地へ旅立ついく中、初めて就職について考えはじめた。
かなり遅い動き出しだつたが…

最高の笑顔を引き出すために：
活動もせず、卒業式が終わり、友人たちが新天地へ旅立ついく中、初めて就職について考えはじめた。

就職活動中、函館の就職情報誌を買ひあさり、すみからすみまで熟読した。

「どんな仕事があるのか?」「自分はどうしてもなく、保護者としてでもなく、教



教師としてではなく、児童・生徒としてもなく、保護者としてでもなく、教

育現場を見ることは、とても不思議な感覚です。取材活動を通して痛感するのは、主觀を持たないことの難しさ。物事とは、それぞれの立場や見方によって大きく形を変えるものだということが、この仕事を通じてよく分かりました。あらゆる視点に立つて進めなければならない教育活動は、本当に難しいものだと思います。

専門紙を発行する立場で、教育の充実のために何ができるかは分かりませんが、自分の取り上げた記事が、たつた一人でも、教育を進めるどなたかの役に立てばよいと思い、目の前の仕事に励んでおります。

自分の生まれ育つた函館地区を取材できる喜びをかみ締め、精一杯努力していくた

いと考えます。今後とも、夕陽会の皆様のご指導ご助言をよろしくお願い致します。

「教育にかかる仕事がしたい(教職以外で)との願いが叶つて、北海道通信社に入社。札幌での本社勤務を経て、こし二月に函館支社に異動しました。現在は渡島管内の学校や教育委員会を取り材し、実践を紹介させていただいております。

就職活動中、函館の就職情報誌を買ひあさり、すみからすみまで熟読した。

「どんな仕事があるのか?」「自分はどうしてもなく、保護者としてでもなく、教

でも、やはりその“気になる部分”が引つかかり、結婚式に携わる仕事を中心に探した。そして、今の職場「ベルクラシック函館」に就職することができた。

現在、プランナー二年目。今改めて考えると、その“気になる部分”というのが分かるような気がする。

結婚式が終わつた後の、新郎新婦さんの“笑顔”、だつたり“涙”だつたり…毎週観ていたあのドラマのクライマックスのようだ：

その瞬間まで、一緒に悩み、一緒に考え、一緒に創つていく…それがこの仕事の一番“面白い”部分だと思う。

でも、やはりその“気になる部分”が引つかかり、結婚式に携わる仕事を中心に探した。そして、今の職場「ベルクラシック函館」に就職することができた。

最高の笑顔を引き出すために：

活動もせず、卒業式が終わり、友人たちが新天地へ旅立ついく中、初めて就職について考えはじめた。

かなり遅い動き出しだつたが…

母校は今③

「サマースクールin函館」は障害のある子どもたちへの長期休暇中の余暇支援を目的として、一九九七年から実施されている活動です。十一年目を迎える今年は八月六日～十日の五日間の日程で行われました。雨が降るあいにくの天気でしたが、子どもの元気とパワーはそんなお構いなし!! プールや調理、買い物、カラオケ、温泉など、様々な活動の中で、学生と子ども達の笑顔が見られました。

この活動が評価され、去年は渡島管内教育実践表彰、そして今年は道新ボランティア奨励賞を頂きました。私は、今年の活動だけが評価されたのではなく、学生が十一年間活動を継続できたことが評価されたのだと感じています。サマースクールは約九ヶ月かけて企画や準備を進めます。その中で今までの活動を見直し、より充実したサマースクールを目指して努力することは大変な労力と時間を費やします。ではなぜ、十一年も継続でき、賞をいただけるまでになつたのか。私が考える理由は二つあります。

まず、先生方や保護者、加えて函館市内の関係機関から活動に対してご理解とご協力を頂けたことです。知識や経験が乏しい学生だけで運営することはできません。現場の先生方が、学校、施設など、地域の協力があつてこそ成り立つ活動なのです。



また、学生の活動に対する意識も十一年前から変わっていません。活動内容や開催日程の変化の中で、核となる部分である“障害のある子どもにも、ごく普通の楽しい夏休みを提供したい”という思いは実行委員の間で引き継がれてきました。このことも子ども本位の活動を持続できた大きなポイントであると思います。

私は、これらの受賞はサマースクールに対する地域からの期待であると感じています。今後も子どもや保護者のニーズをしっかりと捉え、より充実した活動が継続できることを願っています。

第十四回大会から参加している全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸では、参加発表部門と創作コンクール部門の両部門に挑戦しています。参加部門では、大きな舞台が初めてとなる一年生とともに、明るく楽しい作品を披露することができます。創作部門においては、昨年に引き続き賞をいたただくことができ、部員一同うれしく思っています。これからもさらに努力し、よりよい作品を創つていきたいと感

(受賞歴)

全日本高校・大学
ダンスフェスティバル神戸
第十九回 (H18)

特別賞
神戸市長賞

「手燭は陰りて、果てしなく」
「僕をとりまく僕」

審査員賞
「競争の僕 (しもべ)」



07 サマースクール実行委員長 福田裕樹
(四年)



北海道教育大学函館校 竹内光
(三年)

「サマースクールin函館」は障害のある

子どもたちへの長期休暇中の余暇支援を

目的として、一九九七年から実施されて

いる活動です。十一年目を迎える今年は

八月六日～十日の五日間の日程で行われ

ました。雨が降るあいにくの天気でした

が、子どもの元気とパワーはそんなお

構いなし!! プールや調理、買い物、カラオケ、温泉など、様々な活動の中で、学生と子ども達の笑顔が見られました。

この活動が評価され、去年は渡島管内

教育実践表彰、そして今年は道新ボラン

ティア奨励賞を頂きました。私は、今年

の活動だけが評価されたのではなく、学

生が十一年間活動を継続できたことが評

価されたのだと感じています。サマース

クールは約九ヶ月かけて企画や準備を進

めます。その中で今までの活動を見直し、

より充実したサマースクールを目指して

努力することは大変な労力と時間を費や

します。ではなぜ、十一年も継続でき、

賞をいただけるまでになつたのか。私が

考える理由は二つあります。

まず、先生方や保護者、加えて函

館市内の関係機関から活動に対して

ご理解とご協力を頂けたことです。

知識や経験が乏しい学生だけで運営

することはできません。そのため、

があつてこそ成り立つ活動なのです。

「サマースクールin函館」を振り返って

07 サマースクール実行委員長 福田裕樹
(四年)

特に、サマースクールを経験した卒業生

が、社会人ボランティアとして再びサ

マースクールを支えたり、活動の場を提

供してくださつたりする地域のサポート

体制が回を追うごとに充実してきたから

こそ、サマースクールが函館における余

暇支援として地域に根付けたのだと思いま

す。

また、学生の活動に対する意識も十一

年前から変わっていません。活動内容や

開催日程の変化の中で、核となる部分で

ある“障害のある子どもにも、ごく普通

の楽しい夏休みを提供したい”という思

いは実行委員の間で引き継がれてきました。

このことも子ども本位の活動を持続

できた大きなポイントであると思います。

私は、これらの受賞はサマースクール

に対する地域からの期待であると感じて

います。今後も子どもや保護者のニーズ

をしつかりと捉え、より充実した活動が

継続できることを願っています。

私達モダンダンスクラブは、昭和五

七年に創部し、現在は顧問を新開谷央教

授、コーチをOBである清水フミヒトさ

んとし、十九名の部員で活動しています。

主な活動内容は

・新入生歓迎会や学校祭などの学校行事

への参加

・全日本高校・大学ダンスフェスティバ

ル神戸への参加

・モダンダンスクラブ自主公演

・刑務所への慰問や特別支援学校などで

のボランティアなど

その他にも、地域の様々なイベントに参

加しています。

先日、第二十四回北海道教育大学函館

校モダンダンスクラブ発表会『gg;』を行いました。この発表会では、今年の全

日本高校・大学ダンスフェスティバル神

戸「審査員賞」を受賞した作品をはじめ、

バラエティーに富んだ十四作品を上演し

ました。新開谷教授、清水フミヒトさん、

O.B・O.Gの方々、チアリーディング有

志、筑波大学ダンス部、学生スタッフの

皆さんなど、多くの方々の力に支えられ、

無事成功を収めることができました。

第十四回大会から参加している全日本

高校・大学ダンスフェスティバル神戸で

は、参加発表部門と創作コンクール部門

の両部門に挑戦しています。参加部門で

は、大きな舞台が初めてとなる一年生と

ともに、明るく楽しい作品を披露するこ

とができる、とても良い経験が出来ました。

創作部門においては、昨年に引き続き賞

をいたただくことができ、部員一同うれし

く思っています。これからもさらに努力

し、よりよい作品を創つていきたいと感

じています。

このような活動以外にも、地域に根ざ

した様々なイベントに参加しています。

新入生歓迎会や学校祭などの学校行事で

は、より多くの学生に自分たちの活動を

知つてもらおうと、毎年奮闘しています。

また、特別支援学校でのボランティア活

動では、自分たちが創つたダンスを、子

どもたちと一緒に踊るということを通し

て、ダンスの素晴らしさや楽しさを改め

て実感しています。

夕陽会の皆さまの集会にもお招きして

頂き、私たちのダンスを見て頂く機会を得たことは、とても貴重な経験となりました。

こうして私たちが活動していくのも、

夕陽会の皆さまをはじめ、多くの方々の

ご支援のおかげです。これからもより一

層努力し、ダンスを通して様々な人と触

れ合つていきたいと思っています。ダンス

の技術を高めるとともに、表現性や人

間性を高められるよう、努力していきた

いです。

こうして私たちが活動していくのも、

夕陽会の皆さまをはじめ、多くの方々の

ご支援のおかげです。これからもより一

層努力し、ダンスを通して様々な人と触

れ合つていきたいと思っています。ダンス

の技術を高めるとともに、表現性や人

間性を高められるよう、努力していきた

いです。

夕陽会の皆さまをはじめ、多くの方々の

ご支援のおかげです。これからもより一

層努力し、ダンスを通して様々な人と触

れ合つていきたいと思っています。ダンス

の技術を高めるとともに、表現性や人

間性を高められるよう、努力していきた

いです。

夕陽会の皆さまをはじめ、多くの方々の

ご支援のおかげです。これからもより一

層努力し、ダンスを通して様々な人と触

れ合つていきたいと思っています。ダンス

の技術を高めるとともに、表現性や人

間性を高められるよう、努力していきた

いです。



留萌支部便り 「決意を新たに」

留萌支部長 秋葉良之
(平成元年卒 天塩町立更岸小学校教頭)

学芸会が無事に終了し、職員で町内の温泉に来たときの事。露天風呂から日本海を眺めると、そこには夕暮れに山肌を赤く染める利尻富士。静かに目を閉じ耳を澄ますと、波の音が心地よく、行事を終えた充実感と相まってすごく穏やかな気分に…。十九年前、この管内の教員として赴任以来、故郷函館を離れ、転勤する度に北上し、ついに日本最北の地まで一時間というところまで来てしまいました。武田鉄矢の歌にもある通り、「思えば遠くへ来たもんだ」と、温泉につかりながら思わず鼻歌を歌つてしましました。本支部は北は幌延から南は増毛と南北に九市町村が連なる自然環境に恵まれた地域です。ただ、この管内も少子化の影響により学校の統廃合が相次ぎ、教職員数が減少し続けています。その為、支部会員数も今年度三十五名、しかもそのほとんどが平成以降の卒業生という状況で現職会員には現在のところ管理職が二名（行政職はゼロ）。その二名も昇任間もない新米教頭ということで、支部長・幹事長会議への参加もなかなか思うようにならず、若い先生方に代理出席してもらうだけ多くの会員とふれあうことを目指すこのような状況から、他支部のような活発な活動は難しいのですが、私が支部長をお引き受けした四年前からは、できるだけ多くの会員とふれあうことを目指す

Dが届かないというハプニングがありましたが、「アカペラで歌おう!」という提案があり、全員で心を一つに歌い上げました。会場に響く「夕陽とこえに」のフレーズに、私は言いようのない感動を感じました。また同時に、留萌管内から夕陽の火を絶やしてはいけないという決意を新たにしました。

その歩みは小さいですが、今後も微力ながら、本支部の充実・発展のために努めてまいりたいと思います。今後ともご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。



胆振連合支部だより

胆振連合支部長 宇野敏昭
(昭和46年卒 伊達市立伊達中学校長)

し、管内を巡回しながら「交流会」を年二回ずつ行うようにしました。集まつてくる会員は多くはありませんが、悩みを相談し合つたり、函館時代振り返ったりしながら楽しいひとときを過ごしています。更に昨年度からは不定期乍ら、広報紙を管内会員に向けて発行し、支部の活動の様子をP.R.するようにしています。

今年度は道北ブロック会議が十一月に当管内で開催されました。本部からは川島会長様、須藤幹事長様のご臨席を賜り、各支部の情報交換や本部の情勢を交流し合いました。その後の懇親会では、留萌支部に対する組織強化のアイデアや力強い励ましの言葉を数多く頂戴しました。特に印象深かったのは、「夕陽賛歌」の場面でした。当日フェリーガ欠航し、幹事長が勤務先の焼尻島から出られず、C

本支部は会員数では函館市支部、渡島支部に次ぐ約百八十名となっていますが、数年前には二百名を超えていた状況から見ると大変寂しい思いをしています。また、現在校長が二十九名、教頭が十五名（内、女性校長一名、女性教頭一名）となつており、団塊世代退職後の胆振の教育における夕陽会の占める度合いが弱まるのではないかと危惧している状況でもあります。

しかし、中堅教師を中心に意欲的な人材も豊富であり、新しい教育に挑戦する雰囲気が徐々に膨らんできている状況も見られることから、今後新しい夕陽の風を吹かせることに期待したい思いもあります。

以下、胆振連合支部の活動の現状を紹介します。

一、学校経営セミナー

六年ほど前には、胆振管内の三支部（室蘭市支部・苫小牧市支部・胆振連合支部）はそれぞれ独自に後継者育成学習会を開催していましたが、会の運営に困難な状況が見られたことから合同での開催を進めてきました。今年度のセミナー会員は五十一名（教頭四十名、一般教諭十一名、他大学十二名）となっています。合同開催となつてからは、積極的に他の大学出身者も受け入れながら、胆振の教育発展のために少しでも貢献できることを基本

に考えて取り組んでいます。夏季休業中の宿泊研修を含め計四回の開催で、毎回先輩特別講師等による講話も取り入れ、セミナー運営スタッフ自身も研修できる内容となっています。参加率も七割を超えてています。

二、若者の集い

本支部独自に開催している事業です。胆振管内を三ブロック（むかわ町・厚真町・安平町→東部 白老町・登別市→中部 伊達市・壯瞥町・洞爺湖町・豊浦町→西部）に分けて、主に若手教師交流促進のために行っています。多くの参加を期待していますが現状では厳しい状況です。しかし、参加した教師には大変好評で引き続き息の長い取組として継続して行きたいと考えています。

三、大懇親会

今年度も一月末の二十七日に室蘭市で開催します。例年多くのOBも期待して参加し、往年の元気な姿を復活させる場面ともなっています。室蘭市支部・苫小牧市支部からも応援参加していただいています。本支部が一番元気な姿を見せる一日となっています。今年度からは室蘭市支部内のOBにも案内し更なる盛り上がりを期待している所であります。

会員減少傾向に歯止めがかからない状況ですが会員相互の交流促進と連絡を絶やさない地道な活動を継続していきたい。

支
部
だ
よ
り

